

## 生徒もいろいろ

先日、一人の保護者の方から私に電話がありました。「学校は生徒に甘すぎるのではないか。悪いことをした生徒にはもっと厳しく対応を」という趣旨のお電話でした。このご指摘は実は「校長と語る会」のアンケートの中にもありました。「悪いことを悪いとしっかり指導し、違反者には厳しいペナルティを課して」というご意見をしっかり受け止めたと思います。

その一方で、子どもたちは一人ひとりみな違うという視点に立ったとき、指導は一律ではなくなります。生活環境が異なり、家庭の価値観も異なります。「厳しい指導を」という一方で指導に対する保護者の許容力は決して同じように寛大ではありません。本当は規律違反に対して厳しい指導を最も望んでいるのは学校です。



電話の方は最後に「校長先生も大変ですね」としめくくりました。いえ、校長は決して大変ではありません。それが仕事ですから。

ただ、価値の確立していない生徒と対峙する教師との心の行き違いがどうしても埋められず指導が空回りして悩み、苦しんでいる職員を見れば悲しくなることはあります。